

アフリカ地域研究会



京都大学稲盛財団記念館3階中会議室 申込不要、入場無料

お問い合わせ：京都大学アフリカ地域研究資料センター

電話) 075-753-7803 E-mail) caasas@jambo.afirca.kyoto-u.ac.jp

HP) http://jambo.afirca.kyoto-u.ac.jp



234

第234回 5月17日(木) 15:00~17:00 サヘルの主穀トウジンビエの 作物学的・遺伝学的特性

三浦 勘一 (龍谷大学農学部・准教授)



トウジンビエは日本ではほとんど知られていないが、西アフリカのサヘル帯では日本人にとってのイネに匹敵する、まさに「主穀」にあたる作物である。前半ではトウジンビエの作物学的特性を概観するとともに、耐旱性作物としての将来像をも考えてみたい。後半では西アフリカのトウジンビエ畑に必ず生えている「雑草型」トウジンビエにスポットをあて、遺伝学と民族植物学が重なる領域をさぐることにする。



Masotoko Tanaka

第235回 6月21日(木) 15:00~17:00 メディアをとおした公共の広がり： ベナン、トーゴのラジオ調査から

田中 正隆 (大谷大学社会学部・准教授)

235

アフリカでは携帯端末が急速に普及するなかで、人々がラジオやテレビの放送を受信し、番組に参加して、「公共」を開き、語りあう場が生じている。いわば放送と通信が融合したなかで、対話の広がりは欧米やアジアに遡ったディアスポラとのやりとりまで及んでいる。本発表では、とくに個々人の生活目録やジャーナリスト、政治家、宗教家や視聴者などの個人像に焦点をあてつつ、民主化以降の社会変容について考えたい。



第236回 7月19日(木) 16:00~18:00

236

マダガスカル熱帯乾燥林に棲む爬虫類たち： 多彩な種、盗み聞きするトカゲ、ちょっとだけ危険なヘビ

森 哲 (京都大学大学院理学研究科生物科学専攻・准教授)

1999年より、マダガスカル北西部のアンビジュル熱帯乾燥林において、爬虫類の生態や行動の調査を実施してきた。ここには55種の爬虫類が生息しており、多様な形態、生活史、種間関係を示すトカゲやヘビがひしめき合っている。本講演では、これまでに明らかになってきた彼らの多彩な生き様を紹介する。



Shigeo Mori